

研究計画概要

助成年度・種別	2025年度 若手研究助成
研究者	吉田 緑
所 属	中央大学大学院
研究テーマ	実名薬物報道についての研究 —報道機関・被報道者・オーディエンスの3つの視点から—
研究計画概要	第六次薬物乱用防止五か年戦略では、薬物乱用未然防止や薬物乱用者に対する効果的な社会復帰支援による再乱用防止等が目標として掲げられている。犯罪報道をおこなうことで国民に情報を伝える報道機関も、これらの目標を達成するために重要な役割を果たしうる。しかし、被報道者の社会復帰の観点から、報道のあり方を疑問視する意見もみられる。 本研究の目的は、報道機関、被報道者、報道の受け手であるオーディエンスの三者がそれぞれどのように実名薬物報道を捉えているのかを明らかにするとともに、薬物乱用未然防止と使用者の社会復帰支援の両方に資する報道のあり方を提示することである。 本研究では、大麻や覚醒剤等の違法薬物を自己使用または自己使用目的で所持した人の実名薬物報道に焦点をあて、報道関係者および実名で報じられた経験がある被報道者へのインタビュー調査、オーディエンスに対するWEBアンケート調査を実施し、得られた調査結果をもとに、今後の薬物報道のあり方について検討する。
選考委員からのコメント	薬物使用の実名報道が被報道者の社会復帰にとってどのような影響があるのかを明らかにし、違法薬物使用の未然防止と使用者の社会復帰支援の両方に資する報道のあり方を提言しようとする意欲的な研究である。報道関係者へのインタビューによって、ニュースをつくる側の意識を把握しようとする調査は貴重である。報道する側、された側、オーディエンスという三者それぞれに焦点をあてた調査の実施により研究目的が達成され、報道のあり方に一石を投じることが期待される。